琉球大学学術リポジトリ

# 渡名喜島初記録のムラサキオカガニ(オカガニ科)およびハマベンケイガニ(ベンケイガニ科)



| メタデータ | 言語: ja<br>出版者: 琉球大学資料館 (風樹館)<br>公開日: 2023-01-23<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 前之園, 唯史, 村上, 勇樹, 髙橋, 洋生<br>メールアドレス:<br>所属: |
|---|---|
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002019602 |

Fauna Ryukyuana
ISSN 2187-6657
https://fauna-ryukyuana.webnode.jp

# 渡名喜島初記録のムラサキオカガニ（オカガニ科）およびハマベンケイガニ（ベンケイガニ科）

前之園唯史[1,3]・村上勇樹[2]・髙橋洋生[2]
[1] 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚 1-4-5 102 株式会社かんきょう社
[2] 〒130-8606 東京都墨田区江東橋 3-3-7 一般財団法人自然環境研究センター
[3] 通信著者 (maenosono@kankyo-sha.co.jp)

## 記録

渡名喜島においてオカガニ科のムラサキオカガニ *Gecarcoidea lalandii* H. Milne Edwards, 1837 とベンケイガニ科のハマベンケイガニ *Metasesarma aubryi* (A. Milne-Edwards, 1869) を確認した．これまで同島からこれら 2 種の確認記録はないため，現地で撮影した個体の写真を添えてここに報告する．なお，筆者らはその他の陸上動物の調査中であったこと，これら 2 種は特徴的な体色によって国内に見間違う種がいないことから標本は採集していない．また，保全上の観点から具体的な位置の記載は省略した．

**Gecarcinidae MacLeay, 1838 オカガニ科**
***Gecarcoidea lalandii* H. Milne Edwards, 1837**
**ムラサキオカガニ**
(図 1A, B)

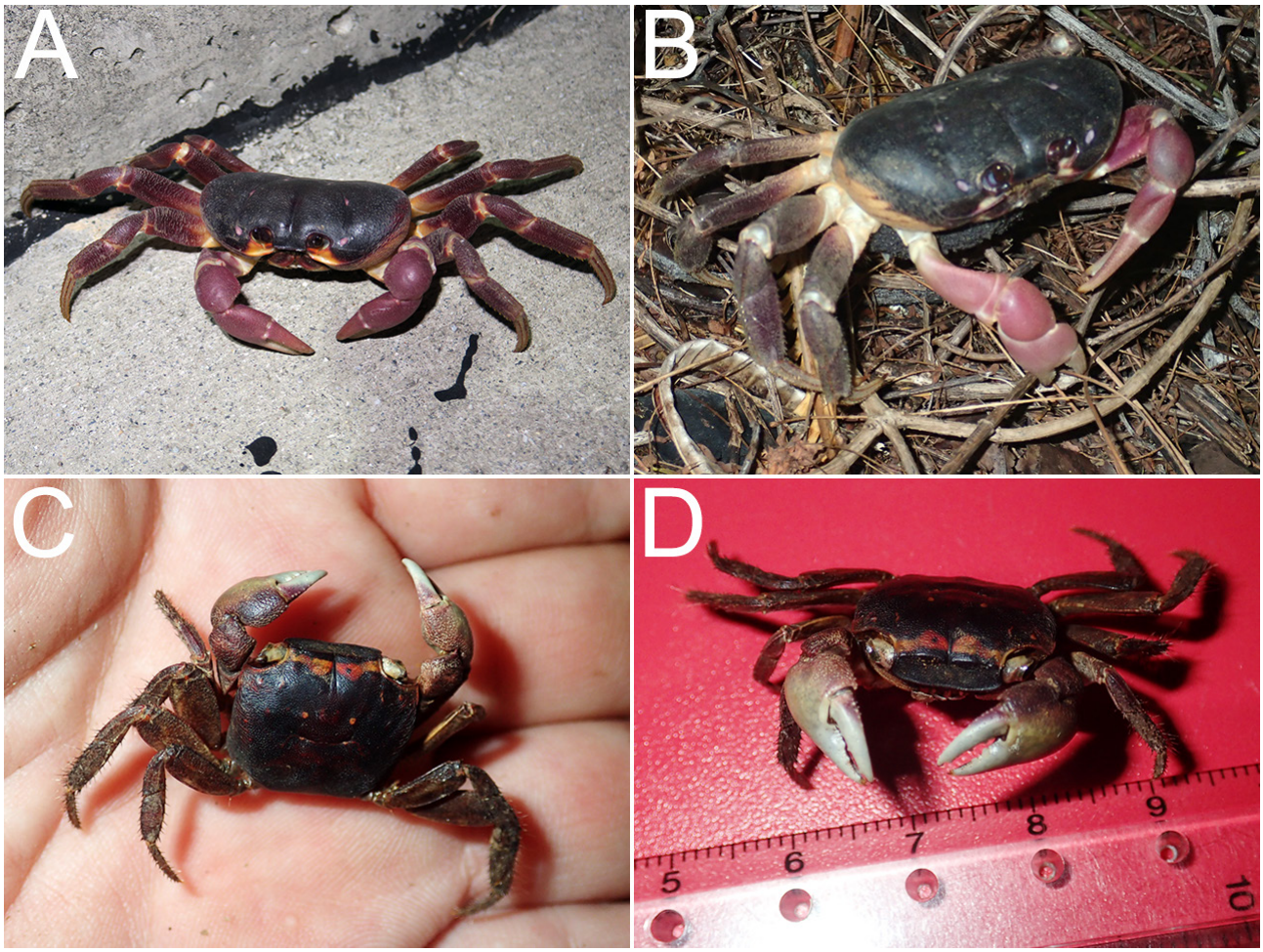


図 1. 渡名喜島で確認されたイワガニ上科 2 種．A, B, ムラサキオカガニ (A, 雌；B, 抱卵雌)；C, D, ハマベンケイガニ (雄の死骸)．
Fig. 1. Two grapsoid crabs found on Tonakijima Island. A, B, *Gecarcoidea lalandii* (A, female; B, ovigerous female); C, D, *Metasesarma aubryi* (dead male).

**同定 .** 額の幅が狭い , 甲の側縁に眼窩外歯以外の歯がない , 眼柄が短い , 頬部の剛毛が極めて少ない , 濃紫色の体色などの特徴が既往文献 ( 藤田 2009, 2017a, b; 豊田・関 2019) で示されているムラサキオカガニの特徴とよく一致した . ただし , 多くの個体は離れた位置から体色のみによって同定を行った .

**確認状況 .** 2022 年 8 月 26 日 –28 日の 3 日間で延べ 22 個体を確認した . 確認はすべて夜間である . 山林や海岸林でも確認されたが , 多くの個体は海岸近くの舗装道路上を移動中であった . 発見したすべての個体について雌雄や抱卵の有無を確認したわけではないが , これらを確認した 7 個体のうち 6 個体は雌であり , 抱卵している雌や体が濡れている雌なども含まれていた . Liu & Jeng (2007) による台湾での研究では , 本種の抱卵期は 5 月中旬から 10 月までであること ( 年変動あり ), 放卵のピークは新月前の数日間であることが報告されているため ( 今回は 8 月 27 日が新月 ), 今回観察した個体には放卵のために移動していた雌も多かったと考えられる .

**分布 .** オーストラリア領のクリスマス島から東南アジア , 西太平洋にかけて広く分布する (Lai et al. 2017). 日本国内では奄美大島 , フデ岩 , 宮古島 , 来間島 , 水納島 ( 宮古諸島 ), 多良間島 , 石垣島 , 鳩間島 , 西表島 , 波照間島および与那国島から標本または写真によって記録されており ( 藤田 2017b), 記録の根拠は不明ながら諸喜田 (2014) は沖縄島も分布地に含めている . 本報告によって本種が渡名喜島にも分布していることが示された .

**Sesarmidae Dana, 1851 ベンケイガニ科**
***Metasesarma aubryi* (A. Milne-Edwards, 1869)**
**ハマベンケイガニ**
( 図 1C, D)

**同定 .** 甲の背面は無毛でほぼ平滑 ( 目立った顆粒や隆条を欠く ), 甲の側縁に眼窩外歯以外の歯がない , 甲はほぼ黒色で左右の眼窩を繋ぐ黄色の横帯を具えるなどの特徴が既往文献 ( 佐伯ら 2010; 前之園・佐伯 2017; 藤田 2017c; 豊田・関 2019) で示されているハマベンケイガニの特徴とよく一致した .

**確認状況 .** 2022 年 8 月 27 日 , 海岸沿いの舗装道路上で雄 ( 甲長 13 mm, 甲幅 16 mm; プラスチック定規により 1 mm 精度で計測 ) の死骸を確認した . この死骸には目立った外傷はなく発見時にはアシナガキアリ *Anoplolepis gracilipes* (Smith, 1857) ( ハチ目アリ科 ) が群がっていた . 台湾ではアシナガキアリがハマベンケイガニを襲う事例も報告されているが (Lee et al. 2021), 今回確認された死骸の個体が生きている時にアリに襲われたのかは不明である .

**分布 .** 東インド洋から西太平洋の熱帯・亜熱帯域に広く分布する ( 前之園・佐伯 2017). 日本国内では石垣島 , 黒島 ( 八重山諸島 ), 西表島および与那国島から標本に基づいて記録されている ( 前之園 2020). 本報告によって本種が渡名喜島にも分布していることが示された .

## 引用文献


藤田喜久 , 2009. 宮古島のオカガニ類 . 宮古島市総合博物館紀要 , 13: 53–70.

藤田喜久 , 2017a. ムラサキオカガニ . 沖縄県環境部自然保護課 ( 編 ), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第 3 版 ( 動物編 ) — レッドデータおきなわ —. P. 336, 沖縄県環境部自然保護課 , 那覇 .

藤田喜久 , 2017b. 先島諸島における希少オカガニ類 4 種の分布記録 . Fauna Ryukyuana, 36: 19–26.

藤田喜久 , 2017c. 与那国島におけるハマベンケイガニとイワトビベンケイガニの新産地記録 . Fauna Ryukyuana, 36: 27–29.

Lai, J.C.Y., H.-T. Shih & P.K.L. Ng, 2017. The systematics of land crabs of the genus *Gecarcoidea* and recognition of a pseudocryptic species, *G. humei*, from the eastern Indian Ocean (Crustacea: Decapoda: Gecarcinidae). Invertebrate Systematics, 31: 406–426.

Lee, C.-C., M.-C. Chiu, C.-H. Shih, C.-C.S. Yang, H.-C. Liu & C.-C. Lin, 2021. The role of anthropogenic disturbance and invasion of yellow crazy ant in a recent decline of land crab population. Scientific Reports, 11 (1): 12234. DOI: 10.1038/s41598-021-91732-z.

Liu, H.-C. & M.-S. Jeng, 2007. Some reproductive aspects of *Gecarcoidea lalandii* (Brachyura: Gecarcinidae) in Taiwan. Zoological Studies, 46 (3): 347–354.

前之園唯史 , 2020. 八重山諸島黒島からのハマベンケイガニ ( ベンケイガニ科 ) の新産地記録 . ニッチェ・ライフ , 8: 58–59.

前之園唯史・佐伯智史, 2017. ハマベンケイガニ . 沖縄県環境部自然保護課 ( 編 ), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第 3 版 ( 動物編 ) — レッドデータおきなわ —. P. 337, 沖縄県環境部自然保護課 , 那覇 .

佐伯智史・西垣孝治・前之園唯史 , 2010. 西表島と石垣島より採集されたハマベンケイガニ ( 甲殻亜門 : 十脚目 : 短尾下目 : ベンケイガニ

科 ) の記録 . 沖縄生物学会誌 , 48: 35–43.
諸喜田茂充 , 2014. ムラサキオカガニ . 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 ( 編 ), レッドデータブック 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 7 その他無脊椎動物 ( クモ形類・甲殻類等 ). P. 65. ぎょうせい , 東京 .
豊田幸詞・関慎太郎 , 2019. 日本産 淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑 . 緑書房 , 東京 .

## New distributional records of *Gecarcoidea lalandii* (Gecarcinidae) and *Metasesarma aubryi* (Sesarmidae) from Tonakijima Island, Ryukyu Archipelago, Japan

**Tadafumi Maenosono[1, 3], Yuki Murakami[2] & Hiroo Takahashi[2]**

[1]Kankyosha, 1-4-5 102 Kyozuka, Urasoe, Okinawa 901-2111, Japan
[2]Japan Wildlife Research Center, 3-3-7 Kotobashi, Sumida, Tokyo 130-8606, Japan
[3]Corresponding author (maenosono@kankyo-sha.co.jp)

**Abstract.** Two grapsoid crabs, *Gecarcoidea lalandii* (Gecarcinidae) and *Metasesarma aubryi* (Sesarmidae), were found and photographed on Tonakijima Island, Ryukyu Archipelago, Japan. This report represents the first records of these species from the island.

投稿日 : 2022 年 10 月 19 日
受理日 : 2022 年 11 月 28 日
発行日 : 2023 年 1 月 21 日